

B

13

理念を軸に共感を広げ、人材の循環で地域課題に挑む

白川ワークドット協同組合



住 所	〒509-1113 岐阜県加茂郡白川町三川923番地4		
ホームページ	—	S N S	[Instagram] @shirakawaworkdot
設 立	令和4年2月	主 な 業 種	異業種(木材・木製品製造業 等)
組 合 員 数	26人	出 資 金	700千円

■背景・目的

岐阜県白川町は、過去に県内で消滅可能性都市ワースト1と発表されるなど急速な人口減少と少子高齢化に直面。生産年齢人口の減少に伴い町内の幅広い業種で深刻な人手不足と業種不足が生じており、事業活動の低迷や地域経済全体の衰退が危惧されている。こうした状況を打開するため、地元企業4社と故・細江茂樹元町議らが中心となり、令和3年に岐阜県初となる「特定地域づくり事業協同組合」を設立。現在は町や関係機関と連携し、組合員の人材確保と定着、地域産業の活性化を通じた人口流出の抑制と地域外からの流入促進といった地域課題解決にも寄与すべく活動している。

■取組みの手法と内容

組合では「白川町の“人と仕事”をつなぐ拠点になる」という理念を掲げ、新井みなみ事務局長を中心に、町と連携した「人材循環の仕組みづくり」に取り組んでいる。

人材の呼び込みにおいては特定地域づくり事業(労働者派遣)に加え、町から受託した「人材循環型モデル創出事業」を組み合わせた独自の施策を展開。町外の若者を対象とした短期ワーキングホリデーや学生インターンシップを受け入れ、白川町での暮らしや人とのつながり、仕事に魅力を感じた参加者をマルチワーカーへと導き、最終的な移住・定住につなげていこうとするものである。こうした活動をSNSで積極的に発信することで、地域での生き方に魅かれた若者の応募が増加している。定着支援においては、組合員加入時に理念を丁寧に共有し、共感に基づく組織づくりを徹底している。この一体感が地域全体でマルチワーカーを受け入れる土壌となり、マルチワーカーを経て地元企業への正規雇用に至る好事例も生まれている。こうした人材循環の仕組みが、安定したマルチワーカーの確保を可能にしている。

現在、マルチワーカーは農業・林業・介護など様々な分野で活躍しており、地域の労働力としてだけではなく、企業の新たな挑戦や地域の活性化を支えている。また、若い人材の定着は地域に新たな活気をもたらし、持続可能な地域づくりに大きく貢献している。

■成果とその要因

現在、7名のマルチワーカーが町内で活躍しているが、事業期間を終えた卒業生が地元企業に就職する流れも生まれ始めている。外から訪れた人が町と関わり、やがて定着していく——この“人の循環”こそが、地域課題を解決する新しいモデルとなった。理念への共感を軸に、町と組合員が同じ志を持って歩めたことが成果の最大の要因である。



新井事務局長(下段右から2番目)とワーカーの皆さん



中学生を対象とした組合員による起業家体験授業の様子



理念を組織内外に発信し、一貫した行動をとり続けることで、多様なステークホルダーから利害を超えた“共感と支持”を獲得している。